《日本文学史(二)》课程教学大纲

**一、课程基本信息**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| **英文名称** | Japanese Literature II | **课程代码** | JAPA2018 |
| **课程性质** | 专业必修 | **授课对象** | 日语专业四年级 |
| **学 分** | 2.0 | **学 时** | 36 |
| **主讲教师** | 森岡缘 | **修订日期** | 2022/12/27 |
| **指定教材** | 高鹏飞主编  《日本文学史》 苏州大学出版社 2011年 | | |

**二、课程目标**

（一）**总体目标：**

日本文学史(一)は三年生の春学期、日本文学史（二）は四年生の秋学期に受講する学生が多い。したがって、学生の日本語熟達度を鑑みて、日本文学史(一)は近現代文学史、日本文学史（二）は古典文学史を講じる。

日本文学史(二)の総合的な目標は以下の通り。日本文学史（古代から江戸時代まで）の流れが理解でき、有名な作品（古代から江戸時代まで）の文学史における価値（文学史的意義）が理解できる。中国の文学史と比較して、共通点·相違点が理解でき、世界文学史の中で、日本文学史を位置づけることができる。

（二）课程目标：

**课程目标1：中国や世界の文学史との比較の観点から日本文学史を理解できる**

1．1　比較の観点から日本文学史を多層的に理解し、中国や世界の文学作品との共通点·相違点への理解を深めることができる

**课程目标2：キャノン(****canon規範)としての文学作品が理解できる**

2．1　高鹏飞主编《日本文学史》の評価に基づき、文学における規範となる作品(canon規範/経典/正典)が理解できる。

**课程目标3：異文化への共感と批判的文化意識を持って日本文学史を理解できる**

3．1　文化が異なっても共感と批判の意識を持って日本文学史を客観的に理解できる。

**课程目标4：文学史の背景にある歴史現象を踏まえ、作品の分析・評価ができる**

4．1　文学作品の変遷や盛衰の原因について歴史的背景を踏まえて分析し、論理的な評価ができる。

**课程目标5：文学史についての総合的な理解に基づき、問題提起や問題解決ができる**

5．1　文学史の概括的な理解を活用して、文学者や文学作品、史的変遷について生じる問題を自分から提起したり、与えられた問題を解決したりできる

（三）课程目标与毕业要求、课程内容的对应关系

**表1：课程目标与课程内容、毕业要求的对应关系表**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| **课程目标** | **课程子目标** | **对应课程内容** | **对应毕业要求** |
| 课程目标1 | 1.1 | 学生の既習の中国、世界の文学についての知識を十分活用して、日本文学の共通点、相違点を学生自身が考えて発言したり発表したりする | 毕业要求2：掌握日语语言知识、日语文学知识、跨文化知识和相关人文社科知识。2-2 掌握日语语言学知识、日本文学知识和日本文化知识，熟悉中国语言文化知识以及跨文化知识 |
| 课程目标2 | 2.1 | キャノン(canon規範)としての文学作品について概略を説明したり、学生に調べさせたりする。 | 毕业要求4：具备较强的文学赏析能力，即能理解日本文学作品的主要内容和主题思想；能欣赏不同流派文学作品的特点、风格和语言艺术；能对日本文学作品进行评论。4-1 能理解日本文学作品的主要内容和主题思想 |
| 课程目标3 | 3.1 | 文化が異なっても共感と批判の意識を持って日本文学史を客観的に理解できるように指導する | 毕业要求5：具备较强的跨文化交际能力，具有对文化差异的敏感性、宽容性以及处理文化差异的灵活性。5-1 尊重各国文化的多样性，具有跨文化同理心和批判性文化意识 |
| 课程目标4 | 4,1 | 文学作品の歴史的背景について説明したり、学生に調べさせたりする。 | 毕业要求8：具备良好的思辨能力，能对证据、概念、方法、背景等要素进行阐述、分析、评价、推理与解释；能自觉反思和调节自己的思维过程。8-2 能对证据、概念、方法、标准、背景等要素进行阐述、分析、评价、推理与解释 |
| 课程目标5 | 5.1 | 文学者や文学作品、史的変遷について生じる問題を、学生に発見させて発言させたり、教師が問題を与えて解答させたりする | 毕业要求9：掌握文献检索、资料查询以及运用现代信息技术获得相关信息的基本方法，具备综合运用所学理论知识解决问题的研究能力和创新能力。毕业论文综合分数达70分以上。9-2 能够综合运用日语语言文学文化等相关理论知识提出问题并解决问题 |

**三、教学内容**

**第一单元 上代文学（第一课～第五课）**

1.教学目标 上代文学の流れと『古事記』『日本書紀』『万葉集』など著名な作品の概略、著名な文学者が理解できる

2.教学重难点

[重点]異文化への共感と批判的文化意識を持って日本文学史を理解する

[难点]文学者や文学作品、史的変遷について生じる問題を自分から提起したり、与えられた問題を解決したりできる

3.教学内容　上代文学の流れと『古事記』『日本書紀』『万葉集』など著名な作品の概略、著名な文学者について学ぶ

4.教学方法 PPTによる講義、副教材「日本文学史(二)練習問題」を自主的に解き、教師に疑義を問う

5.教学评价　授業参加態度と課題（授業内の課題、宿題等）の遂行

**第二单元 中古文学（第六～第十五课）**

1.教学目标 中古文学の流れと『竹取物語』『枕草子』『源氏物語』など著名な作品の概略、著名な文学者が理解できる

2.教学重难点

[重点]異文化への共感と批判的文化意識を持って日本文学史を理解する

[难点]文学者や文学作品、史的変遷について生じる問題を自分から提起したり、与えられた問題を解決したりできる

3.教学内容　中古文学の流れと『竹取物語』『枕草子』『源氏物語』など著名な作品の概略、著名な文学者について学ぶ

4.教学方法 PPTによる講義、副教材「日本文学史(二)練習問題」を自主的に解き、教師に疑義を問う

5.教学评价　授業参加態度と課題（授業内の課題、宿題等）の遂行

**第三单元 中世文学（第十六～第二十一课）**

1.教学目标 中世文学の流れと『平家物語』『方丈記』『徒然草』など著名な作品の概略、著名な文学者が理解できる

2.教学重难点

[重点]異文化への共感と批判的文化意識を持って日本文学史を理解する

[难点]文学者や文学作品、史的変遷について生じる問題を自分から提起したり、与えられた問題を解決したりできる

3.教学内容　中世文学の流れと『平家物語』『方丈記』『徒然草』など著名な作品の概略、著名な文学者について学ぶ

4.教学方法 PPTによる講義、副教材「日本文学史(二)練習問題」を自主的に解き、教師に疑義を問う

5.教学评价　授業参加態度と課題（授業内の課題、宿題等）の遂行

**第四单元 近世文学（第二十三～第三十课）**

1.教学目标 近世文学の流れと『奥の細道』『曽根崎心中』『雨月物語』など著名な作品の概略、著名な文学者が理解できる

2.教学重难点

[重点]異文化への共感と批判的文化意識を持って日本文学史を理解する

[难点]文学者や文学作品、史的変遷について生じる問題を自分から提起したり、与えられた問題を解決したりできる

3.教学内容　近世文学の流れと『奥の細道』『曽根崎心中』『雨月物語』など著名な作品の概略、著名な文学者について学ぶ

4.教学方法 PPTによる講義、副教材「日本文学史(二)練習問題」を自主的に解き、教師に疑義を問う

5.教学评价　授業参加態度と課題（授業内の課題、宿題等）の遂行

**四、学时分配**

**表2：各章节的具体内容和学时分配表**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 章节 | 章节内容 | 学时分配 |
| 第一单元 | 上代文学（第一课～第五课） | 4 |
| 第二单元 | 中古文学（第六～第十五课） | 4 |
| 第三单元 | 中世文学（第十六～第二十一课） | 4 |
| 第四单元 | 近世文学（第二十三～第三十课） | 4 |

**五、教学进度**

**表3：教学进度表**

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 周次 | 日期 | 章节名称 | 内容提要 | 授课时数 | 作业及要求 | 备注 |
| 1-4 | 9/1～9/22 | 第一单元 | 上代文学 | 4 | 練習問題を解く |  |
| 5-8 | 9/7～10/20 | 第二单元 | 中古文学 | 4 | 練習問題を解く |  |
| 9 | 10/27 |  | 中間テスト | 2 |  |  |
| 10-13 | 11/3～11/24 | 第三单元 | 中世文学 | 4 | 練習問題を解く |  |
| 14-17 | 12/1～12/22 | 第四单元 | 近世文学 | 4 | 練習問題を解く |  |

**六、教材及参考书目**

1．加藤周一,1999《新日本文学史序説》上・下,筑摩書房

2．ドナルド・キーン,1994《日本文学の歴史》全18巻,中央公論出版社

3.日本古典文学大辞典編集委員会[編],1985《日本古典文学大辞典》全6巻,岩波書

　店

4.秋山虔、三好行雄,2018《原色新日本文学史 増補版》文英堂

5.日本古典文学大系データベース<http://base1.nijl.ac.jp/~nkbthdb/>

6.新日本古典籍データベース<https://kotenseki.nijl.ac.jp/>

**七、教学方法**

1．PPTによる講義

2.学生自ら練習問題や小課題を解き、タスクを遂行する

**八、考核方式及评定方法**

**（一）课程考核与课程目标的对应关系**

**表4：课程考核与课程目标的对应关系表**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **课程目标** | **考核要点** | **考核方式** |
| 课程目标1 | 複数の文学史を比較考察できる | 考试 |
| 课程目标2 | キャノン(canon規範)としての文学作品について概略が理解できる | 考试 |
| 课程目标3 | 日本文学史に対する客観的理解 | 考试 |
| 课程目标4 | 日本文学史の歴史的背景についての知識と分析力 | 考试 |
| 课程目标5 | 日本文学史に対する問題提起力と問題解決力 | 考试 |

**（二）评定方法**

**1．评定方法**

平时成绩：10%，期中考试：30%，期末考试60%

**2．课程目标的考核占比与达成度分析**

**表5：课程目标的考核占比与达成度分析表**

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| **考核占比**  **课程目标** | **平时** | **期中** | **期末** | **总评达成度** |
| 课程目标1 |  |  |  | （例：课程目标1达成度={0.3ｘ平时目标1成绩+0.2ｘ期中目标1成绩+0.5ｘ期末目标1成绩}/目标1总分。按课程考核实际情况描述） |
| 课程目标2 |  |  |  |
| 课程目标3 |  |  |  |
| 课程目标4 |  |  |  |
| 课程目标5 |  |  |  |

**（三）评分标准** （小四号黑体）

| **课程**  **目标** | **评分标准** | | | | |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **90-100** | **80-89** | **70-79** | **60-69** | **＜60** |
| **优** | **良** | **中** | **合格** | **不合格** |
| **A** | **B** | **C** | **D** | **F** |
| **课程**  **目标1** | 複数の文学史を比較考察し妥当性が高い | 複数の文学史を比較考察し妥当性に欠けたところがある | 妥当と言えない部分があるが比較し考察を試みている | 妥当と言えない部分が多いが比較し考察を試みている | 文学史を比較できない |
| **课程**  **目标2** | キャノン(canon規範)としての文学作品について概略が理解できる | 文学作品の概略がかなり理解できている | 文学作品の概略の理解がやや不足している | 文学作品の概略の理解が不足しているが無いわけではない | 文学作品について概略が理解できない |
| **课程**  **目标3** | 日本文学史を客観的に理解できる | 日本文学史を客観的にかなり理解できている | 日本文学史を客観的理解する力がやや不足している。 | 日本文学史を客観的に理解する力が不足しているが無いわけではない | 日本文学史を客観的に理解できない |
| **课程**  **目标4** | 日本文学史の歴史的背景についての知識と分析力がある | 日本文学史の歴史的背景についてのかなり知識と一定程度の分析力がある | 日本文学史の歴史的背景についての知識や分析力がやや不足している | 日本文学史の歴史的背景についての知識や分析力が不足しているが無いわけではない | 日本文学史の歴史的背景についての知識も分析力もない |
| **课程**  **目标5** | 日本文学史に対する問題提起力と問題解決力が認められる | 日本文学史に対する問題提起力と問題解決力がかなり認められる | 日本文学史に対する問題提起力と問題解決力がわずかに認められる | 日本文学史に対する問題提起力も問題解決力も乏しいが無いわけではない | 日本文学史に対する問題提起力と問題解決力が無い |